

基本事業名	学習機会の提供と内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	611-01			目的 (どうしたいのか)	個人の生きがいづくりとともに、社会や地域への還元を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	生涯学習		陵南の森公民館利用者人数	人		48,364	42,483	50,000
施策の方向	1	生涯学習の機会と内容の充実							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	生活文化情報センター管理運営事務事業		事務事業コード	611-01-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	情報政策課	H30	情報政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	館を利用する不特定多数の方々	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	生活・文化・情報をキーワードに、会議室や実習室をはじめ、ホール、展示ギャラリー、図書館など備え、市民の交流や学習活動、文化・芸術鑑賞の場としてのサービスを展開する。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	図書館の運営を除き実質の運営は指定管理制度を導入している。協調してサービスの向上と効率的な運営を図る。				A	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
			単位:千円	(167,480)	(167,493)	実施		

事務事業名	はびきの市民大学運営事務事業		事務事業コード	611-01-02				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	市民協働ふれあい課	H30	市民協働ふれあい課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	生涯を通して学習を続けていきたい市民対象	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	市民の生涯学習に関する機会の提供を行うことにより、市民の学習意欲の向上を図る。また、学習情報室の設置を行うことにより学習ボランティアとの交流等の場の提供も行う。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	地域性を生かした独自のカリキュラムを作成し、専門的で体系的な学習の機会を提供することを目的とした定期講座の開催や社会の話題に対応した短期講座や公開講座などを開催し、生涯学習の機会を豊富にすることにより、市民の学習意欲の向上を図る。				B	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
			単位:千円	(33,682)	(33,491)	実施		

事務事業名	識字学級運営事務事業		事務事業コード	611-01-03				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市内の読み書き能力の習得を望む方	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	読み書き能力の習得をはじめ、成人教育としての基礎学力の向上に取組むとともに、交流会等を通じて参加者自らの体験・経験から人権の大切さを学び、訴える力を養う。また人権意識の向上をめざす。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	小学校教員(現職及びOB)5名の講師によりマンツーマンの授業、工作等を実施(毎週火曜日午後7時~午後9時、夏休み期間を除く)。大阪府読み書き交流会等への参加。市役所コミュニティスクエアでの作品展。				A	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
			単位:千円	(950)	(1,121)	実施		

事務事業名	福祉教養講座開催事業		事務事業コード	611-01-04				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市在住の視覚障害者、聴覚障害者	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	コミュニケーションに障害をもつ視覚・聴覚障害者を対象として文化講座、社会見学等を実施し、活動機会の拡充を図るとともに、社会参加を支援する。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	視覚障害者、聴覚障害者それぞれで、社会見学と文化講座を年5回実施。				B	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
			単位:千円	(2,287)	(1,554)	実施		

事務事業名	市民生涯学習講座開催事業		事務事業コード	611-01-05				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	陵南の森公民館	H30	陵南の森公民館
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	生涯学習を希望する市民、在勤者、在学者	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	対象者が生涯学習を行う中で本人の個性や能力を伸ばし、自己実現や問題解決につなげられるようにする。最終的には、経験豊かになった対象者が新しいコミュニティ形成を促すため、場や機会を提供する。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	多種多様な講座や教室を開催し、グループ育成を意識した事業の展開をする。				A	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
			単位:千円	(10,234)	(6,785)	実施		

基本事業名		生涯学習を支えるネットワークの形成		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	612-01				目的 (どうしたいのか)	自主的な生涯学習活動の活性化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	1	生涯学習								
施策の方向	2	生涯学習を支える環境づくり								
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

事務事業名		生涯学習自主活動促進事業			事務事業コード		612-01-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		B	概ね順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 陵南の森公民館	H30 陵南の森公民館		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	生涯学習自主的学習グループ、陵南の森公民館グループ連絡協議会			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	対象者が生涯学習を行う中で本人の個性や能力を伸ばし、自己実現や問題解決につなげられるようにする。最終的には、経験豊かになった対象者が新しいコミュニティ形成を促すため、場や機会を提供する。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	対象グループへの生涯学習活動支援をするために、公民館が登録認定をする。陵南の森公民館グループ連絡協議会への活動の一助になるよう公民館が支援する。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施
				単位:千円		(9,629)	(7,308)	(7,308)			

基本事業名	関連団体等との連携と活動支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	社会教育関係団体等				
基本事業コード	613-01			目的 (どうしたいのか)	社会教育の振興により、地域力の向上を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	生涯学習							
施策の方向	3	学びを活かせる地域づくり							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	社会教育振興事業			事務事業コード	613-01-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28	社会教育課	H30	社会教育課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	社会教育行政			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	社会教育行政に地域住民の意向を反映させるとともに、社会教育が行政と地域住民との密接な連携、協働のもとにすめられることを制度的に保障し、社会教育の振興を図る。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	社会教育委員の委嘱、社会教育委員会議の開催、社会教育研究会等への参加、大阪府及び南河内地区社会教育振興協議会への参加。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 1,534	29年度(当初)予算額 1,597	30年度 実施の 方向性		A	B
					単位:千円		(1,534)	(1,597)				

2	事務事業名	社会教育関係団体支援事業			事務事業コード	613-01-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	社会教育課	H30	社会教育課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	社会教育関係団体(羽曳野市婦人団体協議会)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	団体の会員が学びをとおして地域の様々な課題に主体的に取り組むことで、地域づくりの活性化を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	団体への助成金の交付、その他日常活動への支援を行う。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 1,772	29年度(当初)予算額 1,776	30年度 実施の 方向性		A	A
					単位:千円		(1,772)	(1,776)				

基本事業名	図書館サービスの充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等			
基本事業コード	614-01			目的 (どうしたいのか)	知的で心豊かな生活に寄与する。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	1	生涯学習		市民一人あたりの年間資料貸出数	冊	8.5	7.8	10.0
施策の方向	4	読書活動の充実						
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	図書館運営事務事業		事務事業コード	614-01-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続					
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市在住・在勤・在学者、及び広域連携自治体住民	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	図書館課	H30	図書館課
目的 (どうしたいのか)	多様な資料や情報を収集して地域住民の皆様の課題解決を支援し、知的で心豊かな住民生活に寄与することを目的とする。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業		*		
手段 (事業内容)	市内6館1ブックステーションで資料(情報)提供を中心にリクエストサービス、レファレンスサービス、障がい者サービス、学校図書館支援事業、各種集會文化活動、ステーションライブラリーや、広域貸出サービス等を行っている。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
			単位:千円	(165,062)	(165,027)				

事務事業名	ブックステーション管理運営事務事業		事務事業コード	614-01-02					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続					
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	地域住民	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	図書館課	H30	図書館課
目的 (どうしたいのか)	図書館から離れた地域の方々にも、読書環境を提供する。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業				
手段 (事業内容)	はびきのコロセアム内に、「ブックステーションはびきのコロセアム」を週3日午後から開設し、資料の貸出しや情報の提供を行う。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
			単位:千円	(3,415)	(2,679)				

事務事業名	ステーションライブラリー管理運営事務事業		事務事業コード	614-01-03					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続					
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	主に、古市駅・高鷲駅を利用する地域住民	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	図書館課	H30	図書館課
目的 (どうしたいのか)	自由に豊かな読書に親しんでもらう。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業				
手段 (事業内容)	市民からの寄贈本を再利用し、駅に設置の本棚に定期的に本を補充する。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
			単位:千円	(285)	(345)				

事務事業名	大学図書館との連携推進事業		事務事業コード	614-01-04					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	新規					
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市在住・在勤・在学者	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	図書館課	H30	図書館課
目的 (どうしたいのか)	市民の利便性の向上と、情報提供範囲の拡大を目的とする。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業				
手段 (事業内容)	大学図書館が所蔵する資料で、館外貸出し可能な資料を、図書館を通じて、利用希望の羽曳野市在住・在勤・在学者に提供する。		総合評価・ 今後の方向性		各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
			単位:千円						

基本事業名	幼少期からの読書活動の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	幼児・児童・生徒等				
基本事業コード	614-02			目的 (どうしたいのか)	感性や想像力・発想力を養い、豊かな心を育む。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	生涯学習							
施策の方向	4	読書活動の充実							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	子ども読書活動推進事業			事務事業コード	614-02-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28 図書館課	H30 図書館課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	子ども(おおむね18歳以下の者)と子どもに関わる大人			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	*
	目的 (どうしたいのか)	子どもが読書に親しむ機会を提供し、子どもの健やかな成長に資することを目的とする。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	資料の整備充実を図り、家庭・地域・学校が連携し市全体として取り組みを行う。また、子どもの読書活動への理解と関心を深めるため、啓発・広報活動を行う。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	A	A	A
					単位:千円	(4,777)	(4,633)	(4,560)	(4,433)		

2	事務事業名	学校図書館支援事業			事務事業コード	614-02-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28 図書館課	H30 図書館課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	幼稚園児・保育園児・小学生・中学生・高校生と先生			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	子どもたちへの豊かな読書環境の提供を行う。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	図書館が学校図書館支援センターとなり、授業等で必要な資料の購入と、計画的な資料の提供を行う。"たけのこくんブックボックス"(1クラス50冊程度)を希望のクラス・学校へ届ける。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	A	A	A
					単位:千円	5,600	6,163	5,550	6,113		

基本事業名	スポーツを楽しむ機会と場の提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民			
基本事業コード	621-01			目的 (どうしたいのか)	個人の健康づくり・生きがいづくりとともに、多世代交流・地域間交流の促進を図			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		各種スポーツ大会参加人数	人	20,189	調査中	24,000
施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進						
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	大阪府総合体育大会関連事務事業			事務事業コード	621-01-01						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	府民の各種スポーツの競技者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	府内各地域のスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神高揚を図り、併せて府民の健康づくりと親睦に寄与しようとするもの。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	全13種目33種別中、毎年決定した本市開催種目の円滑な運営を図る。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 1,982	29年度(当初)予算額 1,988	B	A	B	30年度 実施の 方向性
				単位:千円	(1,982)	(1,988)					

事務事業名	市民総合体育大会開催事業			事務事業コード	621-01-02						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	青少年の健全育成や市民の健康づくり			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	大会を通じて競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	各種目の参加受付及び取り纏め業務、大会が円滑に進む為の連盟関係者との連絡調整、大会運営を全般的にお願いしている体育協会競技種目連盟への大会運営助成金の拠出事務。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 4,209	29年度(当初)予算額 4,442	A	B	A	30年度 実施の 方向性
				単位:千円	(4,209)	(4,442)					

事務事業名	スポーツ大会開催事業			事務事業コード	621-01-03						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	市民スポーツを通じて、健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	市民体育祭・市民マラソン大会・少年サッカー大会を開催している。開催にあたっては、体育協会・スポーツ推進委員及びスポーツ少年団と連携、また、一部を民間に委託し実施する。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 18,522	29年度(当初)予算額 18,594	A	A	A	30年度 実施の 方向性
				単位:千円	(18,522)	(18,594)					

基本事業名		指導者のリスク管理能力の向上		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	621-02		第6次羽曳野市総合基本計画		目的 (どうしたいのか)	スポーツ活動における安全性の向上を図る。				
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション								
施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進								
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

1	事務事業名	普通救命講習会開催事業			事務事業コード	621-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	スポーツやレクリエーション活動中、疾患等の事故が発生した際に適切な処置を行えるよう心肺蘇生法の講習を受けていただく事で、活動の安全性向上を図る。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	普通救命講習会実施に係る参加者募集のための広報掲載、使用施設の予約(総合スポーツセンター)、当日受付及び運営補助、当日使用する消耗品の準備事務、また、講師については柏原羽曳野藤井寺消防本部に依頼をしているので、開催するにあたっての確認調整を行っている。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		A	A
				単位:千円	(4,080)	(4,093)			実施			

基本事業名	地域のスポーツ活動の活性化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	622-01			目的 (どうしたいのか)	身近な地域におけるスポーツ活動の活性化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション							
施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	スポーツ推進委員関連事務事業			事務事業コード	622-01-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H28 スポーツ振興課	H30 スポーツ振興課	
	対象(誰を・何を)	羽曳野市スポーツ推進委員			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	市民に対するスポーツの実技指導及びニュースポーツの普及活動を通して、市民の心身の健全な発達、生きがいの豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	羽曳野市内より各校区毎(小学校区)の担当として概ね2名ずつの委員を選出し、教育委員会が委嘱する。生涯スポーツの推進役として市民の求めに応じてスポーツの実技指導を行う。また、市民のスポーツ活動の促進の為、スポーツ団体のみならず、学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ関連の行事や事業に協力している。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 5,252	29年度(当初)予算額 5,385	30年度 実施の 方向性		A A 実施	
					単位:千円		(5,252) (5,385)				

2	事務事業名	スポーツ関連団体支援事業			事務事業コード	622-01-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28 スポーツ振興課	H30 スポーツ振興課	
	対象(誰を・何を)	羽曳野市内のスポーツ団体			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市民を中心とした身近なスポーツに親しみ健康的で心豊かな生活を実現するために、活動を活発化させる。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	体育協会・スポーツ少年団・ゲートボール協会に対し助成金を抛出し、大会や講習会等の催しを行う。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 8,232	29年度(当初)予算額 8,249	30年度 実施の 方向性		A A 実施	
					単位:千円		(8,232) (8,249)				

基本事業名	スポーツに参加しやすい環境づくり		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	623-01			目的 (どうしたいのか)	身近な地域におけるスポーツ活動拠点の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション							
施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実							
まちづくりの 戦略	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
スポーツ施設利用者数				人		278,327	調査中	301,000	

事務事業名	総合スポーツセンター管理運営事務事業			事務事業コード	623-01-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である			法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
対象(誰を・何を)	羽曳野市立総合スポーツセンター(はびきのコロセアム)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
目的(どうしたいのか)	適正な維持管理を行うことで、市民のスポーツ振興を図り、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
手段(事業内容)	管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(130,640)	(131,852)			

事務事業名	体育施設管理事務事業			事務事業コード	623-01-02					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B 概ね順調である			法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
対象(誰を・何を)	羽曳野市直営スポーツ施設(石川・羽曳が丘テニスコート・GG場・中央スポーツ公園・茶山テニスコート)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
目的(どうしたいのか)	施設の適正な管理を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
手段(事業内容)	施設の維持管理			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(33,086)	(34,282)			

事務事業名	体育施設運営事務事業			事務事業コード	623-01-03					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B 概ね順調である			法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
対象(誰を・何を)	羽曳野市直営スポーツ施設(石川・羽曳が丘テニスコート・GG場・中央スポーツ公園・茶山テニスコート)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
目的(どうしたいのか)	施設の適正な管理を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
手段(事業内容)	市職員による利用者対応			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(16,348)	(13,651)			

事務事業名	市民体育館等管理運営事務事業			事務事業コード	623-01-04					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B 概ね順調である			法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
対象(誰を・何を)	スポーツ施設(市民体育館、市民体育館テニスコート、市民ホール)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
目的(どうしたいのか)	適正な維持管理を行うことで、市民のスポーツ振興を図り、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
手段(事業内容)	管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(19,092)	(19,098)			

事務事業名	グレースヒルスポーツ公園等管理運営事務事業			事務事業コード	623-01-05					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である			法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
対象(誰を・何を)	スポーツ施設(グレースヒルスポーツ公園、駒ヶ谷テニスコート)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
目的(どうしたいのか)	適正な維持管理を行うことで、市民のスポーツ振興を図り、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
手段(事業内容)	管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(14,296)	(14,824)			

事務事業名	スポーツ施設利用予約システム運営事務事業			事務事業コード	623-01-06					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である			法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課
対象(誰を・何を)	羽曳野市民及び羽曳野市外利用者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
目的(どうしたいのか)	羽曳野市民(在勤・在住・在学者)及び市外の方が、スポーツ施設予約システムを利用する事で体育施設の利便性向上を図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
手段(事業内容)	自宅等のパソコンや携帯電話からインターネットを利用して、スポーツ施設の空き情報の照会や利用申込等が、いつでも、どこでも、気軽に利用していただけるスポーツ施設予約システムである。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(4,786)	(4,276)			

基本事業名		既存施設の有効活用		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	623-02				目的 (どうしたいのか)	スポーツ団体活動の活性化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション								
施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実								
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

1	事務事業名		学校体育施設開放事務事業			事務事業コード		623-02-01								
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		B 概ね順調である		継続・ 新規	継続		法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	スポーツ振興課	H30	スポーツ振興課		
	事務事業の 概要		対象(誰を・何を)			スポーツ・レクリエーション団体等			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業				
			目的 (どうしたいのか)			小中学校のグラウンド、体育館、プール等を各団体の活動の場として提供することにより、団体活動の充実を図るものである。			総合評価・ 今後の方向性		改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
			手段 (事業内容)			①年度ごとに事業への登録(団体単位)を受け付ける。②市内小中学校が規則の範囲内かつ、教育事業に支障がないと認めた日時の体育施設を開放し、登録団体に利用申請書を提出してもらったうえで施設の利用を認めている。			総事業費 (うち市負担額)		28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性	
								単位:千円		(5,111)		(5,129)		A A B 実施		

基本事業名	スポーツ施設の機能拡充		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民			
基本事業コード	623-03			目的 (どうしたいのか)	地域のニーズに応じた拠点の整備を推進する。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション						
施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実						
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	茶山駐車場整備事業			事務事業コード	623-03-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		継続・ 新規	終了	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28 H29 H30			
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	茶山テニスコート敷地			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	茶山テニスコートの敷地内に有料駐車場を整備することで利用者の利便性の向上を図る。			総合評価・ 今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性 A	有効性 A	効率性 A
		手段 (事業内容)	整備工事			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 5,846	29年度(当初)予算額 0	30年度 実施の 方向性		
					単位:千円	(5,846)	(0)				

2	事務事業名	市民プール整備事業			事務事業コード	623-03-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28 H29 H30			
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立市民プール			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	子どもから大人まで楽しむことができるプール施設を整備することで、地域のスポーツ振興を図る。			総合評価・ 今後の方向性		各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	流水プール、25mプール、幼児プールを整備予定。なお、流水プールは学校授業でも使える仕様とする。<事業スケジュール予定>平成29年度:基本設計、実施設計平成30年度8月~平成31年度6月:整備工事平成31年度7月:供用開始			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	実施	
					単位:千円						

基本事業名	文化財の適正な管理と保全		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内の文化財や歴史資産				
基本事業コード	631-01			目的 (どうしたいのか)	その価値や魅力を次代へと継承し、市民が郷土に愛着や誇りを感じられるようにする。				
第 6 次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	3	歴史・文化							
施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	文化財発掘調査事業		事務事業コード	631-01-01	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29
対象(誰を・何を)	市内に存在する文化財(埋蔵文化財)		文化財保護課	文化財保護課	
目的(どうしたいのか)	埋蔵文化財を保護し、さらにはその活用を図り、市民をはじめ多くの人たちに本市の個性の一つである豊かな歴史性を周知する。また、文化財を将来へ継承していく。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
手段(事業内容)	開発工事等との調整を図り、文化財の保護を行う。必要に応じて、埋蔵文化財の発掘調査を実施する。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				23,125	21,999
			単位:千円	(21,817)	(19,565)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	石川流域前期古墳発掘事業		事務事業コード	631-01-02	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29
対象(誰を・何を)	主として石川流域に分布する前期古墳		文化財保護課	文化財保護課	
目的(どうしたいのか)	石川流域の前期古墳は、世界文化遺産登録を目指している、古市古墳群の形成を考える上で非常に重要な古墳である。これら前期古墳の内容を把握して、将来的には国指定史跡を目指す。各古墳の測量や発掘調査を実施して、古墳の形状や規模、築造時期を把握して、文化庁や大阪府をはじめ関係諸機関と調整を図り、国指定史跡を目指す。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
手段(事業内容)			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				7,761	4,985
			単位:千円	(6,827)	(4,164)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	文化財指定・助成事業		事務事業コード	631-01-03	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29
対象(誰を・何を)	市内に存在する文化財(埋蔵文化財)		文化財保護課	文化財保護課	
目的(どうしたいのか)	適切に保存を行い、将来に継承していく。また、指定文化財等の公開や活用を積極的に推進する。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
手段(事業内容)	市内に存在する文化財の価値を明確にして、文化財保護法、大阪府文化財保護条例、羽曳野市文化財保護条例に即って、文化財指定等を行う。また、指定文化財等の所有者に対して、適切な保存や公開を行う一助として助成金の交付を行う。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				6,270	11,127
			単位:千円	(6,270)	(11,127)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	史跡等管理・保存整備事業		事務事業コード	631-01-04	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29
対象(誰を・何を)	市内に存在する史跡や歴史公園等		文化財保護課	文化財保護課	
目的(どうしたいのか)	我が国の歴史を理解する上で欠くことのできない史跡地等について、適切な状態で保存し、公開や活用を図る。また、公有していない史跡地の公有化を推進していく。さらに、歴史的に重要な遺跡等を史跡指定を行う。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
手段(事業内容)	史跡地等の清掃・除草作業、その他史跡等の維持管理に必要な事業を行う。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				10,293	18,228
			単位:千円	(10,047)	(14,321)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	史跡古市古墳群整備基本計画策定事務事業		事務事業コード	631-01-05	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	- 達成・終了		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29
対象(誰を・何を)	史跡古市古墳群		文化財保護課	文化財保護課	
目的(どうしたいのか)	巨大古墳が集中し、我が国の古墳群を代表する古市古墳群はその歴史的価値から国史跡に指定されている。また、世界文化遺産登録を目指して、今後の保存整備や公開活用のあり方を検討していく。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
手段(事業内容)	古市古墳群が位置する藤井寺市と連携を図り、整備基本計画策定に関する専門委員会での意見聴取や検討作業を行う。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				4,367	3,878
			単位:千円	(4,367)	(3,878)
				30年度実施の方向性	-

事務事業名	文化財保管施設管理事務事業		事務事業コード	631-01-06	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29
対象(誰を・何を)	市内に存在する文化財(埋蔵文化財)整理作業及びその施設管理		文化財保護課	文化財保護課	
目的(どうしたいのか)	埋蔵文化財の整理作業、また調査内容の検討や研究、出土資料の実測や図面作成。さらには資料やその記録図面や写真の保管や管理等を行う。また、その施設を適正な状態で管理する。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
手段(事業内容)	発掘調査で出土した遺物の洗浄・分類、注記、接合や復元、実測等の記録作成、図面や写真の整理や保管作業やその施設の適正管理		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				1,849	1,801
			単位:千円	(1,849)	(1,801)
				30年度実施の方向性	実施

基本事業名	歴史学習の充実と魅力発信		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等			
基本事業コード	631-02			目的 (どうしたいのか)	郷土への誇りや愛着心を養うとともに、市外からの交流を通じた地域の活性化を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	3	歴史・文化						
施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり						
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	文化財等の周知啓発事業		事務事業コード	631-02-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	文化財保護課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	学校の児童や生徒、文化財や歴史遺産の支援者・愛好者		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	本市に存する豊かな文化財の価値や面白さについて興味や関心を持って頂き、郷土愛を育み、さらに歴史を通して想像力や感性を養う。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	本市に存する豊かな文化財の価値や面白さについて、児童・生徒や教員を対象として出前授業や研修等を実施する。また、生涯学習として、文化財や歴史遺産の支援者・愛好者にも、現地見学や講演会等の機会を捉えて、本市の歴史的個性を体感して頂く。		28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性	実施
				総事業費 (うち市負担額)		1,624		3,550		
				単位:千円		(1,624)		(3,550)		

2	事務事業名	文化財の展示・公開事業		事務事業コード	631-02-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	文化財保護課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	出土遺物や市内に点在する文化財、また文化財見学者		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	本市の豊かな歴史的個性を体感してもらうために、本市内での発掘調査によって出土した遺物を広く展示・公開し、その充実を図る。また、市内に点在する文化財(遺跡や古墳、神社仏閣等)の理解や関心を深める。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	文化財展示の施設において、出土遺物の展示等を行う専用ケースの設置、文化財の解説案内板の設置整備を進める。		28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性	実施
				総事業費 (うち市負担額)		4,605		5,012		
				単位:千円		(3,671)		(4,417)		

基本事業名	世界文化遺産登録に向けた取り組み		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	百舌鳥・古市古墳群			
基本事業コード	631-03			目的 (どうしたいのか)	世界文化遺産への登録をめざす。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	3	歴史・文化						
施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり						
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	世界文化遺産登録推進連絡会議事務事業			事務事業コード	631-03-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 世界文化遺産推進室	H30 世界文化遺産推進室		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	①羽曳野市民・藤井寺市民 ②国内外からの来訪者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	*	
		目的 (どうしたいのか)	①古市古墳群の認知度向上及び地元の更なる機運醸成②来訪者の効率的・効果的な受入体制の整備など			総評価・ 今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	古市古墳群のPRを行い、地元の更なる機運醸成を図っている。また、スムーズに国内外からの来訪者を受け入れるため、関係機関との協議や調整を図る。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
					単位:千円	(4,774)	(4,794)					

2	事務事業名	世界文化遺産登録推進本部会議事務事業			事務事業コード	631-03-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 世界文化遺産推進室	H30 世界文化遺産推進室		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	百舌鳥・古市古墳群			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	百舌鳥・古市古墳群を世界文化遺産に登録する			総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	・大阪府、堺市、藤井寺市と羽曳野市の4者にて、ユネスコへ提出する推薦書・包括的保存管理計画の作成。・国内外での機運醸成活動の実施			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
					単位:千円	(9,142)	(9,533)					

基本事業名	機運醸成と来訪者対応の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民及び来訪者等				
基本事業コード	631-04			目的 (どうしたいのか)	古市古墳群への愛着や誇りの醸成を図るとともに、周辺環境と調和した整備を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	歴史・文化		もずふる応援隊登録者数(累計)	人	500	1,788	2,500	
施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	周知啓発活動事業			事務事業コード	631-04-01						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	世界文化遺産推進室	H30	世界文化遺産推進室
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民ほか			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		*
	目的 (どうしたいのか)	市民への百舌鳥・古市古墳群の認知度向上及び更なる地元の機運醸成			総評価・ 今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	イベントでのPRをはじめ、古市古墳群などの映像を活用しながら更なる認知度向上及び地元の機運醸成をはかる。			28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施
				総事業費 (うち市負担額)	28,097	16,384					
				単位:千円	(13,004)	(16,384)					

事務事業名	来訪者受け入れ環境整備事業			事務事業コード	631-04-02						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	世界文化遺産推進室	H30	世界文化遺産推進室
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民・国内外からの来訪者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	世界遺産登録を契機に増加する、国内外からの来訪者を効果的・効率的に受け入れる			総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	・花畑の管理(除草・清掃など)を行い、花の見ごろなどの情報を発信する。・外国からの来訪者にも対応できるよう、市内施設においてWi-Fiを整備する。			28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施
				総事業費 (うち市負担額)	19,357	11,948					
				単位:千円	(19,357)	(11,948)					

事務事業名	古墳DEるるる開催事業			事務事業コード	631-04-03						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	新規	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	世界文化遺産推進室	H30	世界文化遺産推進室
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民ほか			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	地域住民、特に今まで古墳に興味を示してこれなかった方々に、古墳群の価値を知り、愛着をもっといただききっかけづくりのため。			総評価・ 今後の方向性		各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	ホールでは、古代衣装などのファッションショー「もずふるコレクション」をはじめ、吉本英人による世界遺産応援漫才や東嶺秀樹氏による世界遺産のトークショー等を開催。その他会場では、古墳にまつわるグッズや食べ物の販売や埴輪づくりなどの古墳時代体験も開催され、約2700人の参加があった。			28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施
				総事業費 (うち市負担額)							
				単位:千円							

基本事業名	歴史資産を活かしたまちづくり		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	631-05			目的 (どうしたいのか)	魅力の発信と広域的な交流による地域の活性化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	歴史・文化							
施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	竹内街道活性化事業			事務事業コード	631-05-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28 政策推進課	H29 政策推進課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	竹内街道及びその周辺の資産等			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		*
		目的 (どうしたいのか)	魅力を再生・創造し、広く発信することにより、地域全体の活性化を促進し、地域に対する愛着や誇りを醸成する。			総合評価・ 今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・福原市・桜井市・明日香村からなる12の沿道自治体並びに産学民が、府県の枠組みを越えて連携し、街道の活性化のために必要な取組みを行う。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		B	A
				単位:千円	(3,153)	(2,842)						

基本事業名	文化・芸術の振興		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	632-01			目的 (どうしたいのか)	文化・伝統を尊重し、心豊かな生活を送ることができるようにする。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	歴史・文化							
施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	ギャラリーはびきの運営事務事業			事務事業コード	632-01-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	市民協働ふれあい課	H30	市民協働ふれあい課
	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	文化・芸術に親しみ、意識の高揚を図る。			総評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	「ギャラリーはびきの」にて、年間5回、著名な現代工芸作家等の企画展や和島コレクション等の文化財資料の展示を実施している。また、企画展においては制作体験や、作家から直接作品の解説を行ってもらう「おしゃべりサロン」を実施している。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	A	A		
				単位:千円	(4,782)	(3,322)						

2	事務事業名	伝統芸能保存育成事業			事務事業コード	632-01-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	市民協働ふれあい課	H30	市民協働ふれあい課
	対象(誰を・何を)	伝統芸能を保存育成していく団体			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	地域に密着した伝統芸能を後世に継承する。			総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	伝統芸能を保存育成している2団体の活動資金の一部を助成する。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	A	A		
				単位:千円	(1,020)	(875)						

基本事業名	自主的な文化活動への支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	632-02			目的 (どうしたいのか)	市民・地域間の文化的な交流を促進し、地域の活性化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	1,800
施策	3	歴史・文化							
施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	市民文化活動支援事業			事務事業コード	632-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	社会教育課	H30	社会教育課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	文化活動に取り組む団体			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	文化関係団体・サークルや地域の人材と連携して市民の自主的な文化・芸術活動を促進する。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	市文化連盟への補助金の交付、市民会館、コミュニティセンターの利用料減免等により各文化団体の日常活動の支援を行う。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
					単位:千円	(1,098)	(2,212)					

2	事務事業名	市民文化祭開催事業			事務事業コード	632-02-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	社会教育課	H30	社会教育課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	市民に文化・芸術活動の発表の場、鑑賞の場を提供することで、市民文化の振興を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	文化関係団体、社会教育関係団体により市民文化祭実行委員会を組織し、市民文化祭を開催する。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
					単位:千円	(4,173)	(3,122)					

基本事業名		平和意識の高揚		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民							
基本事業コード	641-01				目的 (どうしたいのか)	平和であることの尊さを認識し、共有する。							
第6次羽曳野市総合基本計画							総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち		平和展への参加者数									
施策	4	平和意識・人権尊重		人	1,000	1,000		1,100					
施策の方向	1	平和意識の高揚											
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
事務事業名		平和意識の普及啓発事業			事務事業コード		641-01-01						
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H28	人権推進課	H30	人権推進課		
1	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果					二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	市民に平和の尊さ、戦争の悲惨さを訴え伝えていくことにより、平和意識の高揚を図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
		手段(事業内容)	市民の平和意識高揚のため、『羽曳野市平和展&人権展』、『平和ゲートボール大会』、『平和パネル展』等を実施。また、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議を通じ、加盟団体と連携・協力した事業の実施。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施		
					単位:千円	(1,979)	(2,932)						

基本事業名	人権擁護に関する施策の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	642-01			目的 (どうしたいのか)	一人ひとりの基本的人権が尊重される社会を目指す。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	4	平和意識・人権尊重							
施策の方向	2	人権擁護に関する施策の充実							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	人権擁護委員協議会事務事業			事務事業コード	642-01-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	人権推進課	人権推進課	
	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業			
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	すべての国民に保障されている基本的人権を擁護し、また、人権意識の普及高揚を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	法務大臣から委嘱された民間のボランティアである人権擁護委員が、人権相談所の開設をはじめ、市内小・中学生への啓発活動や南河内地域の人権擁護委員及び羽曳野市と連携・協力した普及活動に取り組んでいる。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施		
				単位:千円	(3,410)	(6,015)						

基本事業名	人権擁護・地域交流の促進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	642-02			目的 (どうしたいのか)	人権啓発の推進とともに、地域福祉の向上を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	4	平和意識・人権尊重							
施策の方向	2	人権擁護に関する施策の充実							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名		総合相談事業(人権文化センター)			事務事業コード		642-02-01						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A 順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29 人権文化センター H30 人権文化センター				
1	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市内在住・在勤			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	生活上のさまざまな課題に対して専門の相談員を常任し、問題解決を図る			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価			妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	相談ができる常設窓口の開設					A	B	A			
		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施				
		7,958		8,742									
		単位:千円 (3,468)		単位:千円 (4,252)									

事務事業名		地域交流促進事業			事務事業コード		642-02-02						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A 順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 人権文化センター H30 人権文化センター				
2	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市内在住・在勤			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	地域間の隔たりを無くし、人と人とが各種の講習講座を通じて、ふれあい、認め合い、相互に協力し合うことにより、人権意識を啓発し、人権尊重の重要性に対する市民の理解を深める。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価			妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	各種講習講座の開催					A	B	A			
		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施				
		5,635		5,628									
		単位:千円 (5,434)		単位:千円 (5,427)									

事務事業名		人権文化センター管理事務事業			事務事業コード		642-02-03						
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A 順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 人権文化センター H30 人権文化センター				
3	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	自立を必要とする住民			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	人権啓発の推進及び地域福祉の向上を図るため①人権啓発及び人権文化に係る調査研究。②市民の自主的活動の促進。③地域福祉の支援。等を実施する。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価			妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	人権文化センターを安全かつ適正に維持管理する。					A	A	A			
		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施				
		13,357		13,063									
		単位:千円 (6,711)		単位:千円 (6,417)									

基本事業名	人権教育・人権啓発の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民			
基本事業コード	643-01			目的 (どうしたいのか)	人権意識の高揚を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	4	平和意識・人権尊重		人権啓発事業への参加者数	人	400	545	500
施策の方向	3	人権教育・人権啓発の推進						
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	人権啓発推進事業		事務事業コード	643-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続				
法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	人権推進課	H30	人権推進課		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	人権に関する知識を習得したり、偏見や差別に気づく感性を身につけるなど、市民の人権意識の高揚を目的とする。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	啓発物品及び啓発パンフレットを企画作成し、市主催イベント、成人式等で配布したり、また、市民向け人権セミナーを実施。	総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	実施	
			単位:千円	(3,508)	(6,838)			
				(3,233)	(6,653)			

事務事業名	人権啓発推進協議会事務事業		事務事業コード	643-01-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続				
法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	人権推進課	H30	人権推進課		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民、団体	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	市だけでなく各種団体が人権啓発活動に取り組むことにより、差別のない一人ひとりの基本的人権が保障された社会の実現を目指す。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	市民フェスティバル会場での啓発活動、市と共同開催による啓発事業及び市民への啓発活動を実施。また、南河内地域の各市人権協議会との連携・協力による事業、外部講師による委員研修の実施。	総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	実施	
			単位:千円	3,851	6,084			
				3,851	6,084			

事務事業名	人権・男女共同参画フォーラム(人権推進)開催事業		事務事業コード	643-01-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)			継続・ 新規	隔年または不定期				
法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	人権推進課	H30	人権推進課		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	市民が人権について考える機会を提供し、市民の人権意識の高揚を図るため実施する。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	人権週間(12月4日~10日)にあわせ、有識者による人権に関する講演会を人権啓発推進協議会と共催で実施。※H29は男女共同参画をテーマにイベントが開催される。	総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性	実施	
			単位:千円	4,415	0			
				4,062	0			

基本事業名		個人情報保護の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民			
基本事業コード	644-01				目的 (どうしたいのか)	個人の権利利益の保護を図り、人権侵害を防止する。			
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち		総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	4	平和意識・人権尊重							
施策の方向	4	個人情報保護の推進							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名				事務事業コード			
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		継続・ 新規	法定・ 自治	担当	H29	H30	
	対象(誰を・何を)		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)		総合評価・ 今後の方向性	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
手段 (事業内容)		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性			
		単位:千円	()	()				

基本事業名	男女共同参画に向けた啓発の推進と相談体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民	性別にかかわらず、一人ひとりの個性が尊重される社会の実現を目指す。		
基本事業コード	651-01			目的 (どうしたいのか)				
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	6	歴史・文化が息つき心ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	5	男女共同参画						
施策の方向	1	男女共同参画を支える社会づくり						
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	男女共同参画啓発活動推進事業		事務事業コード	651-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	人権推進課 H30	人権推進課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市、市民、事業者、教育関係者	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	広報、啓発及び男女共生セミナーの開催などにより、男女共同参画に関する理解を深める。	総評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	男女共同参画週間や「女性に対する暴力をなくす運動」期間について、市広報紙への掲載やポスター、のぼり、懸垂幕の掲示などにより周知を行った。また、男女共同参画に関するテーマに基づき、市民参加型の男女共生セミナー(参加費、教材費の受益者負担あり)を実施し、作成した啓発冊子や啓発物品を配布するなど、男女共同参画に関する情報提供や啓発を行った。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施	
			7,796	4,921				
			単位:千円	(7,757)	(4,866)			

事務事業名	女性相談事業		事務事業コード	651-01-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	人権推進課 H30	人権推進課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業 *			
	目的(どうしたいのか)	性別等によるあらゆる差別的取扱いや配偶者等からの暴力など、女性が抱えるさまざまな悩みに対して適切な助言を行い、女性自らが悩みを解決し主体的な生き方を選択できるよう支援する女性相談員による月3回(第1水曜日、第2金曜日、第4水曜日)の女性相談とその他緊急を要する相談及び一時保護支援などを行った。	総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施	
			4,012	2,969				
			単位:千円	(4,012)	(2,969)			

事務事業名	人権・男女共同参画フォーラム(男女共同参画)開催事業		事務事業コード	651-01-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	人権推進課 H30	人権推進課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	市民が男女共同参画及び人権について考える機会を提供し、市民の意識の高揚を図るため実施する。	総評価・今後の方向性		各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	11月25日に有識者による男女共同参画及び人権に関する講演会を人権啓発推進協議会と共催で実施した。※H30は人権をテーマにイベントが開催	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	-	
			単位:千円					

基本事業名		あらゆる分野における男女共同参画の促進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	652-01				目的 (どうしたいのか)	社会のあらゆる分野で男女が対等に参画できる機会を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策目標	6	歴史・文化が息つき心身ともに躍動するまち		審議会等への女性委員登用率		%	22.9	22.8	30.0	
施策	5	男女共同参画								
施策の方向	2	あらゆる分野における男女共同参画の促進								
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

1	事務事業名				事務事業コード			
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		継続・ 新規	法定・ 自治	担当	H29	H30	
	対象(誰を・何を)		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)		総合評価・ 今後の方向性	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
手段 (事業内容)		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性			
		単位:千円	()	()				

基本事業名	男女共同参画社会実現のための意識改革		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	653-01			目的 (どうしたいのか)	男女共同参画を総合的・計画的に促進する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	6	歴史・文化が息つき心ともに躍動するまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	60.0
施策	5	男女共同参画							
施策の方向	3	男女共同参画社会実現のための意識改革							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に同感しない人の割合									

1	事務事業名	男女共同参画推進プラン策定事業			事務事業コード	653-01-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		継続・ 新規	終了	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	人権推進課	H30		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市、市民、事業者、教育関係者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	羽曳野市男女共同参画推進条例第10条第1項に基づき、男女共同参画施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、基本的な計画を定める。			総合評価・ 今後の方向性	完了	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	男女共同参画に関する市民意識調査結果を参考資料とし、前回(第2期)プランの課題検証を行うことで平成29年度から平成30年度までの10年間の男女共同参画に関する本市の基本計画の目標、方針、施策の方向について定めた。			総事業費 (うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		
		6,627		0		(6,627)		(0)				

2	事務事業名	男女共同参画推進プラン進行管理事務事業			事務事業コード	653-01-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	人権推進課	H30		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市、市民、事業者、教育関係者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	男女共同参画推進プランに基づき、男女共同参画施策を総合的かつ計画的に推進する。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	施策担当課へ対象となる施策に関する事業の状況を調査、ヒアリングを行い、推進状況を把握することでプランの進行管理を行い、男女共同参画推進本部、幹事会、審議会へ報告を行った。			総事業費 (うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		
		3,322		3,333		(3,322)		(3,333)				